

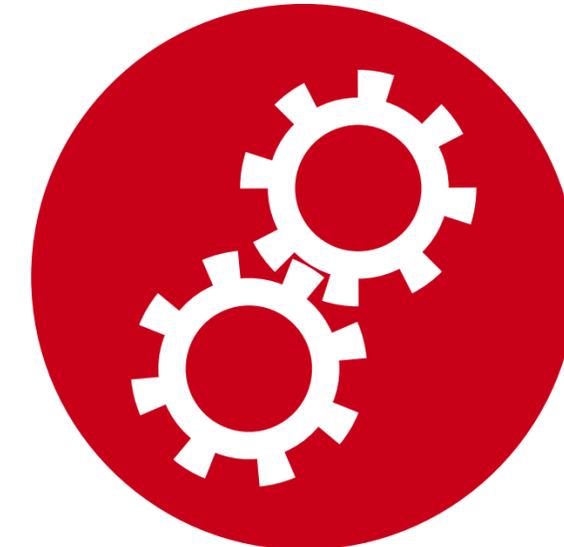
保存版

教育研修案内

社内研修カタログ



社内研修



講演会

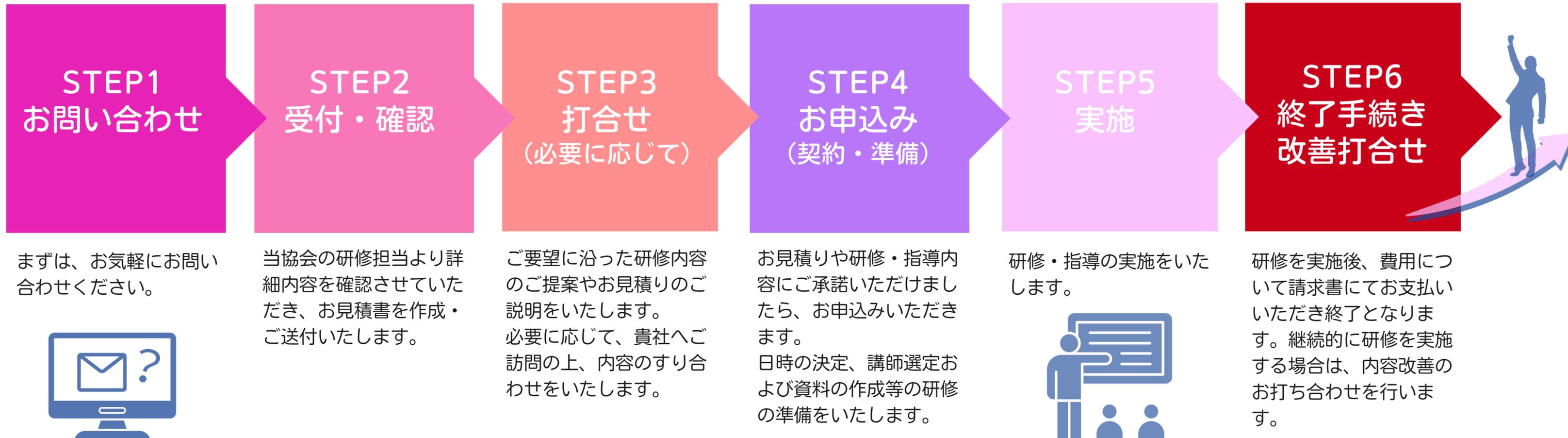


標準化で、世界をつなげる。
JSAG GROUP
日本規格協会グループ SINCE 1945

社内研修・技術指導のご案内

しっかりコミュニケーションを取って実施いたします

ご相談から社内研修実施・完了までの流れ



お問い合わせはJSA Webdeskより承っております。

🔍 JSA 社内研修 ×



社内研修・技術指導のご案内

4つのサービスでしっかりサポートします！

組織の底上げを目指すなら	実践力を高めたいなら	具体的に改善したいなら	意識改革・動機付けを横断的にしたいなら
社内研修	事例指導	技術指導	社内講演会

1

研修効果UP

- ①一度に集合教育を実施できます
⇒同じ教育を一度に実施でき、全社的な活動を展開することができます。
- ②オーダーメイドで、ニーズに合わせた具体的内容を実施できます。
⇒研修内容、講演者の指定、オリジナル教材の作成など、ご要望に細かく対応いたします。
- ③研修後の事例指導で実践力をUPできます。
⇒研修後に貴社事例の改善を目的とした「事例指導」を取り入れることで、研修で学んだことを実践で活用できます。

2

コストダウン

- ①一人当たりの研修費が、公開セミナーよりずっとお安くなります。
⇒公開セミナーでは参加者分の受講料になりますが、社内研修(講演)はコースごとの料金になりますので、大幅にコストダウンできます。
- ②出張費がかかりません。
⇒貴社内の会議室で実施しますので、移動リスクや交通費が軽減されます。
- ③技術指導や事例指導で貴社の問題・課題を改善することで、ムダなコストを削減できるきっかけを提供します。

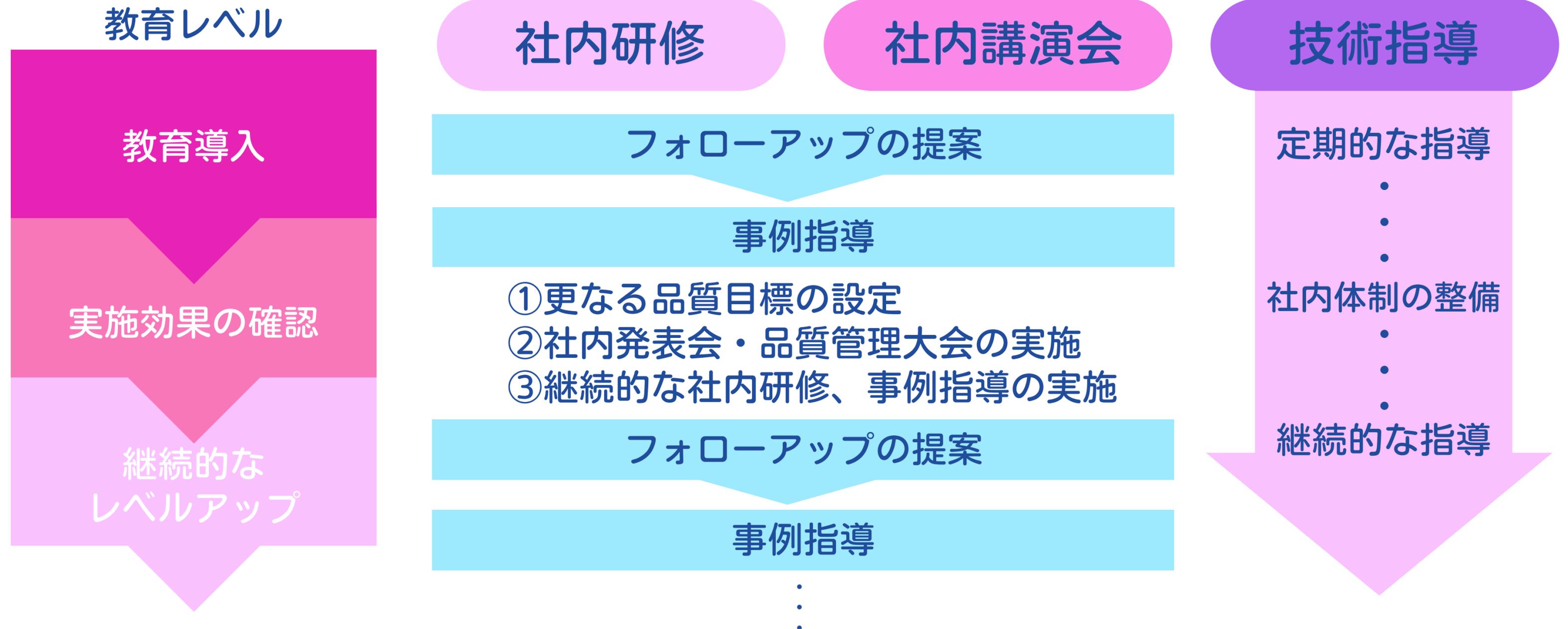
3

利用しやすさUP

- ①都合の良い時期、希望の場所で実施できます。
⇒移動時間などロスが発生しません。また、設備がストップしているときなどに実施できます。
- ②出張費がかかりません。
⇒協力会社とのジョイントや、「工業団地」や「組合」などの単位でも研修を実施できます。

社内研修・技術指導のご案内

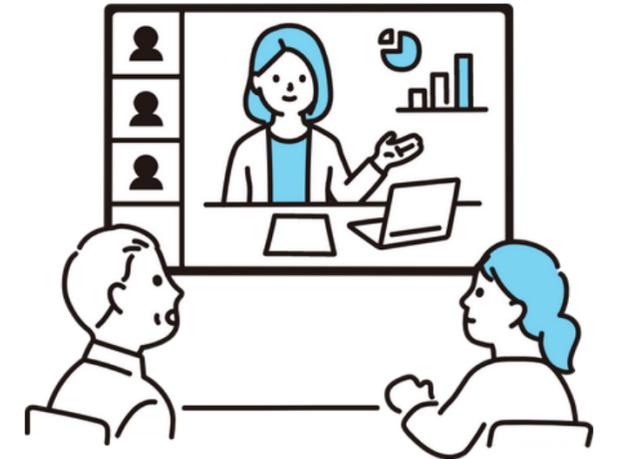
多様な“人財”育成パターンにお応えします！



社内研修・技術指導のご案内

社内研修

社内研修・コスト・利用しやすさで選ぶなら
「社内研修」がおすすめです



1 社内研修とは

貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、
①公開セミナーと同じ内容を実施、又は
②公開セミナーの内容を組み合わせて実施、あるいは
③オーダーメイドの内容でオリジナル研修を実施できるサービスです！

2 社内研修の実施

貴社の工場・事業所において、まとめて多くの人数を教育することができますので、従業員に必要な知識習得など、教育効果としても有効です。また最近では、オンライン開催の要望が増えており、一部研修を除き、実施しております。

- 【実施例】 ●品質管理関係 品質管理入門コース/品質管理検定3級受検者のためのレベル表対応コース/新QC七つ道具活用コース/
品質管理入門講座/実験計画法入門活用コース 他
- 現場の管理・改善関係 5Sコース/作業標準コース/試験・計測器管理コース/作業改善コース/ポカヨケコース 他
 - 品質工学関係 品質工学入門コース/MTシステムコース/品質工学実践コース 他
 - ISOマネジメントシステム関係 ISO9001・14001・22000・27001・45001セミナー/FSSC22000セミナー 他
 - その他 検査体制構築コース/FMEA・FTA入門コース/デザイン・レビュー入門コース/ビジネスツールとしての国際標準化 他

3 オリジナル（オーダーメイド）社内研修の実施

貴社のニーズを確認し、カリキュラムを企画・提案した上で、貴社向けのオリジナル研修を実施します。
貴社のニーズにあった研修が実施できますので、研修の効果が一層高くなります。

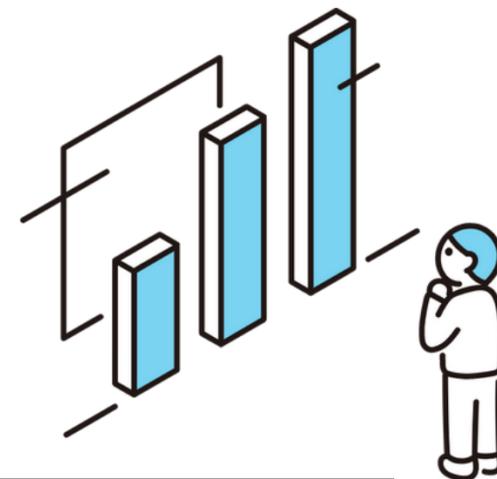
- 【実施例】 ●QCストーリーに基づく、中堅社員のための品質管理研修/職場における仕事の管理と改善研修/体験型改善研修
貴社のレベルに合わせた品質管理基礎研修（例えば事務・営業部門なら新QC七つ道具中心 等）
- ISO内部監査員のためのフォローアップ研修 等 ※実施できる研修内容についてはお問い合わせください。
 - 品質管理・信頼性（FMEA・FTA等）のオンライン用カスタマイズ研修 等

グループ討論などを多く組み込み、より考える研修を実施できます！

社内研修・技術指導のご案内

事例指導

改善活動などで解決したい問題・課題の事例を提示いただき、ベテラン講師と一緒に解決できます！



1 事例指導とは

- 貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、
- 業務上の問題・課題などの事例をもとに、問題解決力など実践力のレベルアップのために、ベテラン講師から貴社会議室などで指導を受けられるサービスです。
 - 社内研修後に事例をベースとした実践力を向上する教育としても有効です。

2 事例指導の実施

貴社で取り組んでいる問題・課題に関する改善活動について事例を提供いただき、その事例をベテラン講師がサポートしながら、改善に必要なデータの取り方、分析の仕方などを細かく指導いたします。またその結果、どのように改善していくかヒントを出しながら自ら実践できるようにサポートいたします。

- 【実施例】
- 不適合品〇〇%削減
 - 業務を効率化し、作業時間を短縮する
 - 〇〇〇のチョコ停の削減

- 〇〇〇の製品特性値の改善
- 組立工程における不良低減
- なぜなぜ分析事例指導

- FMEA事例指導
- ※実施できる事例指導内容につきましてはお問い合わせください。

事例指導の一般的な活用例

事例の選定と計画策定

取り組んでいる課題について、講師へ説明いただきます。解決するためにはどのような計画・方法にすべきか、講師とじっくり打合せを行います。

データ解析・指導

策定した長期的な計画にしたがって、データのとり方、解析方法の決定など、目標達成に必要な事項を数回にわたり細かく指導を行います。

発表会での講評・講演

解析結果の考察、今後の取り組み方など、社内での発表用の資料の作成についても指導します。また発表会における特別講演や、発表事例についての講評も実施可能です。

社内研修・技術指導のご案内

技術指導

実際に直面している問題、組織としての課題、生産性向上、現場改善について直接指導いたします。



1 技術指導とは

- 貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、
- 業務上の問題・課題などの題材、生産性向上、業務効率化など、ベテラン講師から現場や貴社会議室などで直接指導を受けられます！
 - 現場（職場）でディスカッションしながら指導しますので実践力を磨くことができます！
- ※技術指導サービスの範囲として、マネジメントシステム構築は除きます。

2 技術指導の実施

貴社で発生しているさまざまな問題・課題についてベテラン講師がサポートしながら、直接指導いたします。技術指導実施後は、毎回指導報告書を提示し、成果をご報告いたします。また事例指導前に、貴社の現状を確認するためのギャップ評価も必要に応じ実施いたします。

- 【実施例】
- 5S徹底による職場環境改善と作業の効率化活動
 - 生産性向上のための改善活動
 - 不良低減活動
- ※一部オンラインでも対応しています！

- クレーム対策活動
 - 設計・開発部門への品質工学導入活動 等
- ※実施できる技術指導内容につきましてはお問い合わせください。

技術指導の一般的な活用例

ギャップ評価

業務効率化、業務改善を行うに当たり、何が問題か、何を改善しなければいけないかのギャップ評価を行います。その評価結果を受け、改善計画をご提案します。

技術指導

改善計画にしたがって、現場（職場）にて直接的な指導を数回にわたって行います。指導ごとに指導内容、成果、課題を報告書にまとめ、提示します。

継続的な技術指導/振り返り

指導報告書に示した課題を継続的に指導します。過去の指導内容の振り返りを行い、結果をまとめる支援を行います。

報告会での講評・講演

指導結果の成果、振り返り、今後の取り組み方など、社内での報告会用の報告書、資料作成についても指導します。

社内研修・技術指導のご案内

社内講演会

講演会には、
右記のような効果が
期待できます。

社員に気づきを与えるイベントにしませんか？

- 社員に新しい視点を与え、固定概念を変えることができる。
 - 新しい手法などを普及させるきっかけを作ることができる。
 - 日常忘れがちな点の重要性を、再認識させることができる。
- そのためには貴社の実情にあったテーマ・講演者を選定することが重要です！



講演者・テーマ選定もお任せください！ ～ご担当者様をサポートいたします～

テーマ選びが大変！

ご担当者様にとって、テーマの選定は毎回のこととなるととても大変です。当会では、今までの豊富な実績を踏まえて、講演テーマ・内容・講演者をリストアップし、ご要望にあったものを選んでいただけるようご提案いたします。

良い講演者がなかなか見つからない！

ご多忙の中、せっかく開催する講演会です。講演者は、その道のスペシャリストにお願いしたいものです。さらに自社の課題や今後の取り組みをインプットした上で、講演いただくことが効果的です。当会では、実務経験をバックボーンとした説得力のある講演をしていただける、知名度だけではない“本物”の講演者を派遣します。

こんなお悩みは
ありませんか？



産・学・官に幅広く深いつながりを持つ、
当会が最適な講演者をご紹介します。

- セミナー講師 ●発行書籍の執筆者 ●指導経験豊富なコンサルタント ●実務経験者
- ものづくりに関連する各分野の第一線の研究者 ●ISO・IECほか国際標準のスペシャリスト

※講演者・講演内容によりますが、オンラインでも実施しています！

講演テーマのキーワード

- 現場改善：5S、ポカヨケ、見える化、ヒューマンエラー 等
 - 品質改善：品質管理の基礎、小集団活動の円滑化 等
 - ISO：経営者・管理者向け講演会、ISOとは 等
 - その他：コミュニケーション、未然防止活動 等
- ※テーマなどをご相談ください

マネジメントシステム

よくあるお悩み

有効性のあるマネジメントシステムを運用したい
内部監査員を一斉に養成したい
実務とマネジメントシステム運用が乖離してきている
みんなの理解を一致させたい

社内研修をする メリット

カスタマイズもOK！自社のマニュアルを片手にしっかり学べる
同じ経験を経ることで理解が一致する
活動を盛り上げる機運、イベントになる



よくお問い合わせをいただくマネジメントシステム

- ISO9001 品質マネジメントシステム
- ISO14001 環境マネジメントシステム
- ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステム
- ISO27001 情報セキュリティマネジメントシステム

- ISO22000・FSSC 食品安全マネジメントシステム
- IATF16949 自動車産業品質マネジメントシステム
- JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム

マネジメントシステム入門



各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

- 業務とマネジメントシステムのつながりを理解
- 「人々の積極的参加」に直結

マネジメントシステムについて、初めて学ぶ方、さらにジックリと学んで今後の仕事に活用したいと願う方々を対象に、規格の意図や要求事項、導入した活用例などについて学んでいただくコースです。

プログラム例 1日間 9:30~16:30

ISO14001 環境マネジメントシステム入門コース

- ISO14001って何？
- ISO14001要求事項の解説
- 内部監査と認証制度とは？
- 環境マネジメントシステム導入のポイント



プログラム例 1日間 9:30~16:30

ISO9001 品質マネジメントシステム入門コース

- ISO 9001って何？
- Q&Aで理解するISO9001
- ISO 9001が意図することは？
- 内部監査と認証制度とは？
- 品質マネジメントシステム構築と改善のポイント
- ISO 9001 の活用に成功した組織



プログラム例 1日間 9:30~16:30

F S M S 入門コース

- 現在の食品業界が置かれている状況
- FSSC22000 最新Ver 追加要求事項
- イントロダクション
- FSSC22000 最新Ver ポイント
- FSSC22000 最新Ver
- 食品安全文化
- ISO22000
- FSSC22000認証制度
- ISO/TS22002-1、ISO/TS22002-4



マネジメントシステム要求事項解釈

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

要求事項の逐条解説で正しい理解

有効活用のスタートライン

初めてマネジメントシステムの業務に携わるISO担当者だけでなく、組織全ての管理者及び内部監査員の方々を対象として、規格に記載されている各箇条を、実例を交えながら1日で解説するコースです。

プログラム例 30日間

e-ラーニングで学ぶ
ISO 9001:2015解釈オンデマンド研修

◆1回のお申込みで30名以上の教育をご検討の場合◆
ボリュームディスカウントでお一人当たりの受講単価をお安くご提示することが可能です。



プログラム例 1日間 9:30~17:30

ISO9001要求事項解釈コース

- ISO9001の制定、改訂の背景
- プロセスモデルとは
- 文書化とは
- QMSの特徴
- 個別要求事項の解釈



プログラム例 1日間 9:30~17:00

ISO14001要求事項解釈コース

- ISO14001規格の概要
- ISO14001要求事項の逐条解説



プログラム例 1日間 9:30~17:00

ISO45001要求事項解釈コース

- ISO45001規格の概要
- 規格要求の逐条解説



品質管理・現場改善・信頼性・その他

よくあるお悩み

品質管理教育を導入したいがどうすればよいかわからない
シフト等で日時の決まった外部会場で受講することが難しい
新人教育に悩んでいる

社内研修をする
メリット

都合のよい日程で調整できる
一斉に受講させることができる



よくお問い合わせをいただくテーマ

- 品質管理入門研修（2日間）
- 品質管理検定レベル表対応研修
- なぜなぜ分析の進め方研修（基礎・上級）
- ポカヨケ（ヒューマンエラー）研修
- 作業標準研修
- FMEA・FTA入門研修
- 製図技術研修
- 品質工学関係

品質管理入門研修

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

☑ 品質管理、はじめの一步

☑ まずは、QC七つ道具をマスター！

品質管理を初めて学ぼうとされる方に、品質管理の基本的な考え方とQC七つ道具を身につけていただくコースです。スタッフ・一般社員・事務系・技術系のいずれの方にも理解のしやすい講義と豊富なワークショップ（演習）により、短期間で品質管理の基礎をマスターできます！

プログラム例 2日間 9:30~16:30

品質管理入門コース

第1日

- 品質管理とは
- 品質とは、管理とは
- QC的ものの見方・考え方
- データのとり方・まとめ方
- 品質管理とQC七つ道具
 - ・グラフ／チェックシート
 - ・特性要因図

第2日

- QC七つ道具(2)
 - ・パレート図
 - ・ヒストグラム／散布図
- QC七つ道具(3)
 - ・管理図
- 工程の管理
- 問題解決と課題達成



プログラム例 1日間 13:30~16:30

品質管理検定4級受検者のための やさしく学ぶ良い“ものづくり”コース



- 品質管理とは～企業における良い製品づくり
- 品質管理活動に関連する基礎知識
- より良い製品づくりのための心構えと行動

プログラム例 2日間 9:30~17:30

品質管理検定3級受検者のためのレベル表対応コース



- 品質基礎編
 - ・品質の概念／管理の方法／QC的ものの見方・考え方
- 品質管理の実践編
 - ・品質保証／方針管理／日常管理／標準化／小集団活動／人材育成／品質マネジメントシステム
- 品質管理の手法編
 - ・データの取り方・まとめ方
- 品質の手法編
 - ・QC七つ道具
 - ・グラフ／パレート図／特性要因図／チェックシート／ヒストグラム／散布図／層別／工程能力指数／管理図
 - ・新QC七つ道具
 - ・統計的方法の基礎

カスタマイズ例

事前学習などの工夫で、QC七つ道具にフォーカスした1日コースでの実施

品質管理中級研修

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

- ✓ リーダーに必要なQC知識の習得
- ✓ 現場でデータを活用する力を養成

背景にある考え方の理解を主眼においたカリキュラム。採取したデータの読み方、活用の仕方などをしっかり考え、改善を自分でできる力量を習得しましょう。

※QC検定2級受検対策レベル

プログラム例 7日間 9:30~18:00

QC検定2級レベル表対応

- TQM の進め方
- データのまとめ方と活用 (Q7) <1>
- データのまとめ方と活用 (Q7) <2>
- 統計的検定・推定 <1>
- データのまとめ方と活用 (N7)
- 統計的検定・推定 <2>
- 実験計画法
- 信頼性工学
- 相関・回帰分析
- 管理図の作り方と活用
- 宿題解説
- 社内標準化とその進め方
- サンプルングと抜取検査
- 修了試験
- プロセス品質保証とその進め方
- 管理・改善の進め方



カスタマイズ例
統計的検定・推定など苦手分野に特化した短縮開催

- ✓ 2日間で新QC七つ道具マスター
- ✓ 課題達成に役立つQC手法を体感

プログラム例 2日間 9:30~18:00 (2日目: 9:30~17:00)

新QC七つ道具活用コース

- | | |
|--|---|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> QC的問題解決とN7 | <input type="checkbox"/> 系統図法/アロー・ダイアグラム法 |
| <input type="checkbox"/> 連関図法/親和図法 | <input type="checkbox"/> PDPC 法 |
| <input type="checkbox"/> マトリックス・データ解析法 | <input type="checkbox"/> 手法の業務への活用 |



- ✓ 実験計画法で品質や生産性を向上

プログラム例 4日間 9:30~16:30

実験計画法入門コース

- | | |
|--|--|
| 第1日 | 第3日 |
| <input type="checkbox"/> 実験計画法とは | <input type="checkbox"/> 直交表による実験計画 (2水準の場合) |
| <input type="checkbox"/> 1因子実験(1) (完全無作為化法の場合) | <input type="checkbox"/> 直交表による実験計画 (3水準の場合) |
| 第2日 | 第4日 |
| <input type="checkbox"/> 1因子実験(2) (乱塊法の場合) | <input type="checkbox"/> パラメータ設計 (事例を含む) |
| <input type="checkbox"/> 2因子要因実験 (2元配置) | <input type="checkbox"/> 実験計画法実施上の諸注意 |
| <input type="checkbox"/> 因子が3つ以上のときの要因実験 | <input type="checkbox"/> 質疑応答 |



不良・不具合再発防止のためのなぜなぜ分析の進め方

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

不良・不具合再発防止のためのなぜなぜ分析の進め方コース（基礎コース）

「なぜなぜ」で問題の真因を把握

有効な分析で現状打破

「なぜなぜ分析」をどのように活用・実施していくのか、上手く進めるポイントや注意点、なぜなぜ分析活用シートを活用した演習を中心にわかりやすい事例を交えながら進めていくコースです。不良・不具合を再発させないためには、今までの考えを変え、問題を一つずつしっかりと原因を追究し、真因を掴みそれについて対策を打つことが必要です。誰もが簡単に行うことができる「なぜなぜ分析」の活用で現状打破を試みましょう。

プログラム例 1日間 9:30~16:30

- 再発防止の重要性
- なぜなぜ分析の実施
- ヒューマンエラー問題の再発防止の進め方
- 「なぜなぜ分析」演習



不良・不具合再発防止のためのなぜなぜ分析の進め方コース（上級コース）

なぜなぜ分析の活動レベル向上

個別再発防止から類似再発防止

なぜなぜ分析研究会の活動成果である「再発防止10訓」を多くの企業事例と共にご紹介し、更に演習を通じて再発防止策を引き出す改善力を養うコースです。

「なぜなぜ分析を導入して5年も経つのに再発問題が減らず、真因まで行き着かない」「類似再発防止まで展開ができない」などとお悩みの方におすすめです。

プログラム例 1日間 9:30~16:30

- なぜなぜ分析の導入成功例／苦勞例
- なぜなぜ分析／再発防止10訓
- 個別再発防止～類似再発防止への展開演習
- 各自の困りごとの交流と解決策検討



カスタマイズ例
自社の事例をベースとしたグループ演習の実施

ヒューマンエラー・ポカヨケ

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

✓ 防止の考え方とポイントを習得

プログラム例 1日間 9:30~16:30

ヒューマンエラー防止コース

- 多発するヒューマンエラーは我々を悩ます
- ヒューマンエラーは経営を圧迫する
- ヒューマンエラーは何故発生するのか
- ヒューマンエラー防止の進め方
- 職場の管理でヒューマンエラーは激減する
- ヒューマンエラー3つの物理対策
- ヒューマンエラー対策の実例紹介
- 許されない「重要なヒューマンエラー」とは
- 「重要なヒューマンエラー」発生ゼロへの取り組み
- ヒューマンエラーを未然に防止するには



✓ 理論的にポカヨケ学習

プログラム例 1日間 9:30~16:30

ポカヨケコース

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- ポカヨケとは
- 品質保証活動とポカヨケ
- ポカヨケの考え方
- ポカヨケの仕組みと例
- ポカヨケの標準化
- ポカヨケの実施手順と事例
- ポカヨケ推進のための活動
- その他の分野のポカヨケ
- ヒューマンファクターとヒューマンエラー



✓ ヒューマンエラー再発防止策をグループ演習で学ぶ

プログラム例 1日間 9:30~17:00

体験型 ヒューマンエラー再発防止コース

- 【講義】ヒューマンエラーの再発防止
 - 人間は間違いを起こす動物
 - ヒューマンエラーの種類と特徴
 - ヒューマンエラーの対策事例検証
 - ヒューマンエラー発生要因
 - ヒューマンエラー防止の考え方
 - ヒューマンエラーの再発防止
- 【演習】再発防止策の妥当性の考察（1）
対策事例よりグループワーク
- 【演習】再発防止策の妥当性の考察（2）
対策事例よりグループワーク
- 【演習】再発防止策の立案



✓ ヒューマンエラー未然防止策をグループ演習で学ぶ

プログラム例 1日間 9:30~17:00

体験型 ヒューマンエラー未然防止コース

- 【講義】ヒューマンエラーの再発防止
 - 人間は間違いを起こす動物
 - ヒューマンエラーの種類と特徴
 - ヒューマンエラーの対策事例検証
 - ヒューマンエラー発生要因
 - ヒューマンエラー（未然）防止の考え方
 - ヒューマンエラーの未然防止技法
- 【講義】演習の進め方と汎用事例の説明
- 【演習】ヒューマンエラーの予測
対策事例よりグループワーク
- 【演習】ヒューマンエラーの要因分析と未然防止策立案
事例によるグループワーク
- 【講義】振り返り、質疑応答



FMEA・FTA・デザインレビュー

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

☑ FMEA・FTAをくわしく解説

☑ 問題の潰込みで確実な信頼性確保

信頼性確保に有効なFMEA・FTAの考え方、実施方法について、演習中心に分かりやすく解説するコースです。FMEA・FTAを活用し、設計段階から試作・試験段階、工程・設備において徹底的に要注意部を洗い出し、問題の潰し込みを行い、確実に信頼性を確保することが重要です。

☑ デザインレビューの基本を習得

☑ 9001やPL法対応も解説

プログラム例 1日間 9:30~16:30

デザインレビュー入門コース

- DRの具体的な進め方
- ISO9000シリーズに対応したDR
- 製造物責任法（PL法）
- 環境マネジメントに対応したDR
- 新製品開発と設計管理
- DR実施の効果
- これからの課題とDRのあり方



プログラム例 2日間 9:30~16:30

FMEA・FTA入門コース

第1日

- 信頼性とFMEA・FTA
- FMEA・FTAとは
- FTA演習
- FTA実践演習
- 総合質疑

第2日

- FMEAとは
- FMEA演習
- FMEA実践演習
- FMEA・FTAと品質保証
- 総合質疑



プログラム例 約3時間

動画版 デザインレビュー/DRBFM 入門コース

- 度重なる事故、大問題の発生
- よりよい製品をつくるために
- 品質革新へのアプローチ
- 未然防止とは
- 未然防止の基本的な考え方、GD3
- 未然防止のための着眼点
- 創造的Design Reviewのすすめ
- 未然防止のための実践手法
(製品開発における創造的DR・DRBFMの進め方)
- 創造的Design ReviewDRBFMの具体的な実践手法
- 創造的Design Reviewの仕組みと仕掛け
- まとめ



製図技術研修

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

はじめての幾何公差
入門コースⅠ 幾何公差を学ぶはじめの一步 基本のルールとテクニックの解説

「これから幾何公差を勉強したいけれど、どこからはじめたらよいかわからない」「何となく使ってはいるが正しいかどうか自信がない」などとお考えの方々に、講義と演習を通して図面に描くための基本的なルールとテクニックを身につけていただくコースです。

プログラム例 1日間 9:30~16:30

- 幾何公差の基本的な考え方・幾何公差とは？
- 形状のバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その1）
- 姿勢のバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その2）
- 位置のバラつきを規制する方法
- 振れのバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その3）

はじめての幾何公差
入門コースⅡ 入門コースⅠの次のステップ 幾何公差を完全マスター！

「はじめての幾何公差 入門コースⅠ」をマスターした方に、最大実体公差方式や各種公差を組み合わせた指示方法等、さまざまな付加機能を学ぶことで、入門編でありながらも、より実践に近づいたテクニックを身につけていただくコースです。

プログラム例 1日間 9:30~16:30

- 入門コースⅠのおさらい（課題の答え合わせ）
- 最大実体公差方式（MMR）と包絡の条件
- 公差域の特別ルールとその使い方
～CZ/限定した範囲/単位長さ・広さ当たりの指示
/ねじの中心線に対する指示など～
- データムの描き方と基本ルール（その4）
- 確認テスト
- ※3D図面を描くセミナーではございません。



品質工学関係

各QRコードは同一レベルの公開セミナー詳細ページのURLです。参考にしてください。
本カタログに記載の内容は実施プログラムの一例です。
記載内容以外のご要望もお見積り依頼・お問い合わせの際に詳細打合せさせていただきます。

体験型演習で学ぶタグチメソッド 実践コース（2日間）

- ✓ タグチメソッドの根幹探究
- ✓ なぜQEが効率的なのかを体験

企業における技術開発の問題点を顕在化し、品質工学がどのように役立つのか、何をねらっているのかを明確にして、その根底の考え方と手法の狙いをひもとくコースです。品質工学の手法や考え方を分かりやすく解説し、演習を随所にいれて実践できる知識を身につけます。

プログラム例 2日間

- 第1日 10:00～17:00
品質工学がねらっているものとその基礎
- 品質工学が何をねらっているのか
 - 機能性の評価とパラメータ設計
 - 徹底した効率化のために
 - SN比と直交表

- 第2日 9:30～16:30
実践で流れをつかむ(演習と事例紹介)
- 演習(パターゴルフ)
 - 従来の実験と技術開発の違い
 - 信号と誤差を考える
 - 実験の解析、再現性の確認
 - 全体の流れでのポイントを整理



タグチメソッド活用による生産技術者 のための品質改善コース（2日間）

- ✓ ものづくりにおける不良問題対策
- ✓ 量産後の不良問題解決

研究開発の源流の段階で推奨されている品質工学の仕事の進め方を、生産技術の段階でどのように具体的に進めるのか解説するコースです。また、量産開始前の段階で行う要素技術開発、量産立ち上げ時のトラブル対策の合理的な進め方、量産後の不良問題の考えた方と対策の方法を経験豊かな講師がわかりやすく解説します。

プログラム例 2日間

- 第1日 10:00～17:00
ものづくりにおける不良問題
- 未然防止の考え方と二つの未然防止対策
 - オフライン品質工学とオンライン品質工学
 - 量産開始までの不良対策と量産開始後の不良対策
 - 損失関数の考え方と技術者の使命
 - 品質とコストをバランスさせる許容差の決め方
 - 製造段階における品質工学
 - 製造における管理コストと品質損失
 - フィードバック制御と予防保全

- 第2日 9:30～16:30
量産垂直立上げに重要な仕事の進め方
- コンカレントエンジニアリングと要素技術開発
 - 製造工程のプロセス機能を顕在化する
 - 信頼性のある製造技術情報を確立する
 - 製造技術のシステム選択と機能の明確化
 - 不良を作らない製造技術のパラメータ設計
 - 量産後の不良問題に対する考え方
 - 突発不良と慢性不良に対する考え方
 - 慢性不良の対策こそものづくり力
 - 品質工学と品質保全と不良ゼロ

